

JDCシンポジウム

うつをこえて

2016年

10月1日 **土** 13:00-14:30
※12:30受付開始

岡山大学 鹿田キャンパス

Junko Fukutake Hall (Jホール)

岡山市北区鹿田町2丁目5番1号

開会挨拶：**中島 豊爾** (岡山県医師会 理事 / 岡山県精神科医会 理事長)

座長：**山田 了士** (岡山大学大学院精神神経病態学教室 教授)

13:00 **薬物依存とその周辺のこころの問題**

橋本 望先生 (岡山県精神科医療センター)

13:30 **ネット依存とともに現れるこころの問題**

牧野 和紀先生 (岡山県精神科医療センター)

14:00 **アルコール依存症とうつ**

～「酒は涙か溜息か」「酒と泪と男と女」、
お酒の世界は少し憂うつ？

松本 洋輔先生 (岡山大学病院 精神科神経科)

●各講演後に5分間の質疑応答があります。

対象者：医療関係者、一般市民 / 定員：200名 (先着順)

共催：岡山大学大学院精神神経病態学教室、NPO法人岡山県精神科医会
一般社団法人日本うつ病センター (JDC)

協賛：公益社団法人岡山県医師会、一般社団法人岡山市医師会

後援：岡山県、岡山市、山陽新聞社

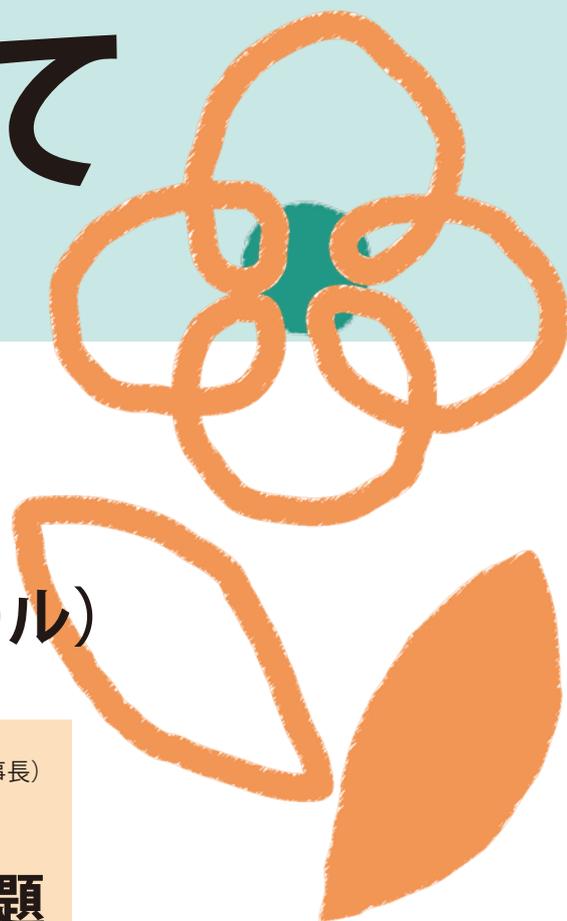
◆日本精神神経学会専門医制度研修ポイント：(C群) 1単位が取得できます。

◆日本医師会生涯教育制度：1.5単位、カリキュラムコード：69.不安、70.気分障害(うつ)、82.生活習慣が取得できます。

【お問い合わせ先】岡山大学大学院精神神経病態学教室

TEL：086-235-7242 (直通)

10月第一土曜日はうつ病を知る日です



岡山大学鹿田キャンパス案内図

うつをこえて
BEYOND THE BLUE

一般社団法人日本うつ病センター (JDC) は、うつ病および関連の疾患に関心をもつ医療従事者、市民の皆様に、これらについての大切な情報を伝え、適切なアドバイスや療養・支援に役立てていただくことを目的に、1978年から30余年に亘り啓発活動をしている専門家の団体です。

参加無料・申込不要

薬物依存とその周辺のこころの問題

橋本 望先生 (岡山県精神科医療センター)



我が国においては、薬物依存問題は、司法的問題として扱われることが多かったのですが、薬物依存は世界保健機構によって認められた精神障害です。近年では、病院で処方される治療薬へ依存する方も増えてきています。当日は、我が国の薬物依存の傾向を踏まえ、その周辺のこころの問題との関連についてお話したいと思います。

* 略歴

2004年3月 岡山大学医学部医学科卒業
 2004年4月～2006年3月 岡山赤十字病院 卒後臨床研修修了
 2006年4月～2009年3月 岡山県立精神科医療センター 後期研修
 2009年4月 同病院精神科医師
 2013年4月 同病院 依存症部門 医長
 2015年9月 国立ギャンブルクリニック(英国) 精神科医
 キングス・カレッジ・ロンドン、精神医学研究所、アディクション部門大学院所属

ネット依存とともに現れるこころの問題

牧野 和紀先生 (岡山県精神科医療センター)



近年、「ネット依存」という言葉が社会現象として一般社会で見受けられるようになってきました。その「ネット依存」というものは社会的な概念でもあり、医学的なとらえ方ができる状態でもありと考えられ、特に精神医学領域とも関連の深い、行動嗜癖の問題及び併存症の問題としても取り扱われることがあります。そのような「ネット依存」の問題に関して、医学的観点からお話をさせていただきたいと思っております。

* 略歴

2006年3月 長崎大学医学部医学科卒業
 2006年4月 国立精神・神経センター 国府台病院 初期研修
 2008年4月 国立国際医療センター 国府台病院 精神科
 2010年4月 国立国際医療研究センター 国府台病院 児童精神科
 2013年4月 地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター
 現在に至る

アルコール依存症とうつ ～「酒は涙か溜息か」「酒と泪と男と女」、お酒の世界は少し憂うつ？

松本 洋輔先生 (岡山大学病院 精神科神経科)



アルコールは中枢神経に作用して気分を変える薬物としては、人類史上最も古いものの一つで、誰にでも簡単に手に入ります。寝付くまでの時間を短縮し不安を減らす作用があるので、不安や憂うつを感じる人が自己治療を目的にお酒を飲むこともあります。しかし、酔いが醒めるときには不安や抑うつを誘発したり、依存性があるため自然に使用量が増えコントロールを失ったりしやすいので、うつかなと思ったときにはお酒とのつきあい方をよく考える必要があります。また、アルコールが原因でうつになることもあります。この講演がお酒とうつの関係についてみなさまが考えるきっかけになればと思います。

* 略歴

1989年 岡山大学医学部医学科卒 同年 岡山大学精神神経病態学教室入局
 1995年～1997年 岡山県立岡山病院(現岡山県精神科医療センター)アルコール専門病棟担当医
 以後アルコール関連問題に継続的に関わる。
 精神保健指定医 日本精神神経学会認定精神科専門医 医学博士
 日本アルコール関連問題学会 日本アルコール・アディクション医学会 会員